

2026年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第11回講義

食と農の未来に向けた新たな取組

～みどりの食料システム戦略の実現と有機農業の拡大に向けて～

農林水産省農産局農業環境対策課長

松本 賢英 氏

松本先生からのメッセージ

気候変動による食料生産の不安定化や中東問題、世界的な人口増加等に伴う食料争奪の激化など、食料や資材がいつでも安価で安定的に輸入できる状況が続かないことは明白となっています。他方、国内の農林水産業においては、担い手の減少が続く中、生産力向上と持続性の両立が急務です。加えて、温室効果ガス削減や生物多様性の維持など、農林水産業を環境と調和のとれた産業へと転換することも求められています。

本講義では、四半世紀ぶりに改定された食料・農業・農村基本法の下、「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた取組と、環境に配慮した先進的な農法である有機農業の現状と拡大に向けた施策について紹介します。

日時： 6月26日(金)

5講目 16:30-18:00

受講方法：

日本製鉄オープンホールによる対面授業

松本 賢英 先生

平成7年 北海道大学大学院農学研究科修士課程修了。

平成7年 農林水産省に入省。

在スペイン日本大使館、副大臣秘書官、経済産業省産業技術環境局成果普及・連携推進室長、農林水産省大臣官房政策課技術政策室長、農林水産技術会議事務局研究企画課長等を歴任。

令和5年7月より現職。

担当：工学系教育研究センター 小崎 完教授